



# はむら 市議会だより

No. 72

(通巻No.181)

平成19年8月15日発行

羽村市議会

〒205-8601

東京都羽村市

緑ヶ丘5丁目2番地1

☎ 042(555)1111

ホームページアドレス

<http://www.city.hamura.tokyo.jp/>



## 観蓮会

(写真は過去に開催した様子)

第3回  
(6月)  
定例会

一般質問	市政を問う(15人の議員が一般質問) .....	2ページ
市長提出議案	「羽村市義務教育就学児の医療費の助成に関する条例」など	
	10件を可決・同意 .....	13ページ
議員提出議案	2件の意見書を可決 .....	14ページ
陳情	5件の陳情を審議 .....	15ページ

# 市政を問う

平成19年第3回羽村市議会(定例会)を、6月11日から29日までの19日間の会期で開きました。

開会初日には市長から、市政についての所信表明がありました。

6月11日、12日、13日には、15人の議員が一般質問を行い、市長の考えを問いました。

※質問・答弁については、内容を要約して掲載しています。

## ◇狭あいな道路の整備について

### ◇「放課後子どもプラン」の推進について

### ◇市制定の木、花、鳥について

#### 狭あいな道路の整備について

**質問** 「羽村市西地区道路整備基本計画」は、計画が公表されて以来、14年の歳月が流れたが、まだ多くの道路において整備・拡幅がなされていない。そこで、今まで以上に、毎年一定の予算と目標を立て、より計画的に整備する必要があると考えるが、市の考えは。

**市長** 平成21年度に策定を予定している「狭あい道路整備計画」に基づき計画的に予算化していく。

#### 「放課後子どもプラン」の推進について

**質問** 国において、子どもの安全育成を図ろうとする「放課後子どもプラン」事業が、本年度より実施された。市の取り組みはどうか。

**市長** 学童クラブの待機児童の解消策とあわせ、放課後児童対策として、府内に検討委員会を設置し、検討するよう指示した。

**質問** 先行的に一小学校において実施することを検討してみては。

**市長** 実施する際には、一つの小学校区で試行し、検証しながら進めていくことも必要だが、検討委員会の中で検討していく。

#### 市制定の木、花、鳥について

**質問** 昭和48年に羽村市は市の木（イチヨウ）、花（桜）、鳥（アオバズク）を制定した。現在、

浜中 はまなか 俊男 としお 議員

根がらみ前水田のチューリップも、毎年多くの人でにぎわうようになつた。そこで、チューリップも市の花に加えるべきではないか。また、検討委員会等を新設することを提案するがどうか。

**市長** 「根がらみ前水田のチューリップ」は羽村の春のイメージとして定着し始めていると感じているが、行政が主導的に検討委員会等を設置し検討していくよりも、市民の中から機運が盛り上がり、検討していくような方向が望ましい。



▲市の花 桜

◇生涯学習関係施設の利用体系・利用料金の見直しを  
◇安心して子供を産み育てられる街に

大塚 あかね 議員  
おおつか あかね ぎいん

生涯学習施設の利用体系・利用料金の見直しを

質問 ゆとろぎ・スポーツセンターの午前・午後・夜間・全日という区分の根拠は何か。

教育長 活動団体の実態に合わせて定めた。

質問 12時から13時、17時から18時が貸し出し

対象外の理由は何か。

教育長 余儀なく時間延長が必要な場合に対応するためや設備・備品の原状復帰、清掃、確

認、利用者の交代時間として設けている。

質問 午前・午後・夜間の料金格差の理由は何か。

教育長 羽村市使用料等審議会に諮り、その答

申を参考に定めた。

質問 市内・市外の料金適正化を早急に図るべきではないか。

教育長 市内・市外利用者の使用料設定の明確

化は、算定基準の設定を行うための重要な要素の一つであるので、市長部局と共に検討していく予定である。

質問 「羽村市使用料等審議会」の開催予定は。

教育長 平成21年度に予定している。

安心して子供を産み育てられる街に

質問 女性外来についての考えは。

市長 市内には女性外来を設置した医療機関

はないが、現在、建設中の公立福生病院において、医師不足が解消されれば、総合内科のような形で女性外来についても取り組んでいきたい、とのことである。

質問 病後児保育実施に向けた検討結果は。

市長 病後児保育については、平成13年度から実施場所の検討を開始し、平成15年6月から

「羽村たつの子保育園」で実施している。

※このほか、「児童館の他団体への貸し出しについて」と「市内産婦人科への医療体制支援について」を質問しました。



▲ゆとろぎ周辺



▲引き渡し訓練(栄小学校)

## 防災訓練に小・中学生の参加を

質問 授業の中で防災教育は。

**教育長** 小・中学校では、安全指導や避難訓練を実施し、防災教育を行っている。各種災害発生時の危険の理解と行動の仕方、避難所の役割、避難の仕方、災害に対する備え、地域の防災活動と

地域社会への貢献の仕方等について学習している。また、「防災の日」や防災週間には、小学校で引取下校訓練、中学校で下校訓練を実施している。このほか、理科で気象災害、社会で地域防災の取り組みなどを学んでいる。これらの防災教育を通して、児童・生徒が自然災害に対する心構えと準備をし、冷静な状況判断のもとで自分の身を守り、適切に行動する力を養うこと、加えて中学生には災害支援ボランティアの意識育成などをねらいとしている。

質問 公開授業、授業参観と併用し、総合防災訓練に参加を。

**教育長** 公開授業、授業参観は校長が一年の計画をして実施するもので、本年の防災訓練にはその予定はない。しかし、総合防災訓練参加は極めて重要なことで、学校から児童・生徒・保護者に周知・啓発していくたい。

質問 大正土手から羽村堰に向かう場

- ◇防災訓練に小・中学生の参加を  
◇羽村市内の遊歩道の状況について

橋本 弘山 議員

## ◇都市農業の振興について

川崎 明夫 議員

質問 羽村市農業の現状と問題点は。  
**市長** 現状としては、平成7年に56ヘクタールであった耕地面積が平成17年には約50ヘクタールに減少していること、農業従事者の高齢化と農業者人口が減少していることがあげられる。問題点は、「農地の減少に歯止めをかける」「高齢化している農業者への支援体制の確立」「市民と農業者の相互理解の促進」などがあげられる。

質問 今年締め切る生産緑地の追加指定の現状と今後は。

**市長** 追加指定を行った平成17年度で、10件、0・9ヘクタール。平成18年度が、6件、0・7ヘクタールであり、今年9月28日まで受け付けを行い、今後については、農地全体の保全について検討するとともに、農業委員会の意向を尊重し、追加指定についても検討していく。

質問 農業後継者の育成については。  
**市長** 農業後継者育成費補助金の交付、パイプハウス・農機具の購入補助や先進

▲開店の時を待つ人々(羽村市農産物直売所)

質問 「羽村らしさ」としての「羽村ブランド」の取り組みは。  
**市長** 農業者は羽村独自の野菜、果物、花きなど開発に努めているが、これといつた決め手がないのが現状のようだ。